

質 疑 回 答 書（ 設 計 図 書 ）

施設部整備課

工事名 京都大学（南部）基幹・環境整備（屋外排水設備）（Ⅲ期）工事

標記工事の設計図書について下記のとおり回答いたします。

No.	図面番号	質問事項	回答
1	特記-1	土木工事特記仕様書1章一般共通事項（1. 3. 5）施工条件の（法律・条例等による施工条件）の●印1段目、2段目記載の京都市公共下水道事業条例第5条2項に基づき、排水設備工事は京都市指定下水道事業者で行うこと（布設替え、管更生ともに）となっていますが、指定業者に施工を請け負わずと理解してよろしいのでしょうか、ご教示ください。	自社、下請けは問いませんが、排水改修工事(布設替え、管更生ともに)施工の際は京都市指定下水道事業者で実施ください。
2	特記-2	土木工事特記仕様書1章一般共通事項（1. 3. 5）施工条件の（管更生工法による施工条件）●印上から10段目更生材料（工法）は以下の現場条件により光硬化工法を採用することとありますが、光硬化工法以外の使用は認められないのでしょうか、ご教示ください。	光硬化工法での施工としてください。
3		◆管口耐震化工について 受注後、事前調査・耐震計算（柱状図等資料必要）を行い、必要な箇所を判定後に変更いただける認識でよろしいでしょうか。 現時点で必要可否の判別がつかないため。	特記仕様書に記載の「管きょ更生工法における設計・施工のガイドラインー2017版ー」に記載の通り、接続部をフレキシブルな構造とすることで管口の耐震化は満たしている認識のため、変更はないものと考えております。
4		◆止水工について ・上流からの排水を止めるための「止水プラグ設置」「水替え用ポンプ設置」という認識でよろしいでしょうか	よろしいです。 なお、教育・研究活動に支障がないよう排水を迂回できれば方法は問いません。
5		◆柵・人孔更生工について 仕様の明記が無いため、塗布型ライニングD種で、よろしいでしょうか。	設計はPPSライニング工法で見込んでおります。同等性能が確保できる工法で施工ください。
		以下余白	

標記工事の設計図書について下記のとおり変更します。

No.	図面番号	指示事項
変更1	特記-2	工事数量表の項目を変更・追記・削除します。(別図-1)
変更2	3～6号	下記項目を削除しました。(別図-2参照) ・雨水3～10の管更生、更生工、補正工の削除
変更3	19号	下記項目を削除しました。(別図-3参照) ・コーキング補修詳細図(参考図)、グレーチング蓋取替標準図、インバート工を削除。
		変更に伴う別図データは本日(令和8年8月25日)に競争入札参加者に対し、 電子メールにて送付します。
		以下余白